

## 古典は何を勉強するの？ 第四話



皆さん、こんにちは。今日のテーマは「百人一首」です。百首すべて暗誦できるという強者はいますか？ 数ある和歌の中から、今日はこの歌を紹介します。

長らへばまたこのごろやしのばれむ憂しと見し世ぞ今は恋しき

藤原清輔朝臣

(小倉百人一首 84番)

### 【現代語訳】

これから先、生きながらえたとすれば、またこのつらいことの多い現在が懐かしく思い出されるであろうか。つらいと思っただけで過ぎた昔の日々が、今では恋しく思い出されることだ。

これは、藤原清輔朝臣が詠んだ和歌です。清輔は、平安時代後期（今から約九百年前）に、歌壇の中心で活躍した人物です。文化や暮らし、何もかもが現代とは違うのに、不思議と今の皆さんの心に響いてきませんか？

「正直きついなあ…」

新型コロナウイルスの影響で暮らしが制限され、こう感じている人も多いですよ。それでも、この歌のように、いつかきっと、「あんな時代もあったな」と懐かしむことができる日が来るはず。そう信じて、「今、私たちがすべきこと」に精一杯取り組んでください。 (平安時代と違って、現代は電話やメールですぐに連絡が取れるから、まだマシでしょうか?)

